

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護の基本I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年生		学期及び曜時限	後期 木曜2限	教室名	401教室
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>前期、後期を通して、介護福祉の基本となる理念や、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活の継続性を支援するための方法や仕組みを理解する。今学期では以下の2点について学ぶ。①介護福祉士の専門職としての能力や態度を身につけていく基本を学ぶ。②介護福祉士が必要とされている場面と役割と機能の基本を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>①素点 定期試験、小テスト等の得点 70%      ②出席評価 20%      ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>中央法規出版 介護福祉士養成講座介護の基本1。介護福祉六法</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護福祉の現場は日々の社会の情勢に影響を受けており、社会の現在と変化を知ることは意味がある。新聞等で社会福祉に関する事項を読むことを習慣づける。その中から、興味を持った記事について、内容の簡単な紹介、考察を、学期中2回レポートで報告。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	介護福祉とは一介護の成り立ち1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	授業の目標と講義予定。介護の意味を理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	介護の成り立ち2		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	戦前の社会福祉政策、戦後に、福祉三法が成立するまでの社会福祉政策を理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	介護専門職が誕生した社会的背景とは		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	専門職による介護が誕生した社会的背景を理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1970年代、1980年代の高齢者施策を概観する。				
第5回	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷2		最新 介護福祉士養成講座7「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1990年代、2000年代以降の高齢者施策を概観し概念の変遷を理解する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	尊厳を支える介護とはどういうことか、具体的に理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	自立を支える介護とはどういうことか具体的に理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉の基本理念を演習を通して理解を深める		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	地域や施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能を地域包括システム、介護予防の必要性と併せて、理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	新たに求められている、医療的ケア、看取り、災害時のケアの場における介護福祉士の役割と機能を理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	社会福祉士及び介護福祉士法の概要を理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉士が守るべき義務規定の意味を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成カリキュラムの変遷	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	社会の情勢の変化につれ、介護ニーズが変わっていき介護福祉士に求められる役割も変化していったことをカリキュラムの変遷を通して理解する。今求められる介護福祉士像を理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士を支える団体	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉士を支える職能団体等を理解し、専門的な技術・知識を高める生涯研修の必要性を理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の基本1の前期まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護の基本1前期の復習と演習		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 火2限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)第2版						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。			
		各コマにおける授業予定	生活とは何かを理解する。私たちの生活を構成する重要な要素について理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。			
		各コマにおける授業予定	生活の特性、生活のしづらさに対する支援を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する。介護福祉職のかかわる高齢者について知る。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する			
		各コマにおける授業予定	介護福祉職のかかわる障害者について知る。個人の暮らし、歴史を聴く場合の注意点を知る。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「その人らしさ」と「生活ニーズ」について理解する			
		各コマにおける授業予定	その人らしさや、その多様性について理解する。生活ニーズや、その多様性について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活のしずらさとその支援について理解する。		
		各コマにおける授業予定	私たち自身、介護を必要とする人の生活のしずらさの視点について理解する。家族介護者とその支援について理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活を支えるしくみを理解する。		
		各コマにおける授業予定	地域共生社会、地域包括ケアシステムについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるフォーマルサービスについて理解する		
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者を支えるフォーマルサービスを理解する。フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点を知る。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるインフォーマルサービスについて理解する		
		各コマにおける授業予定	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係を知る。一般的に想定されるインフォーマルサービスについて理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する		
		各コマにおける授業予定	地域連携の意義と目的について学ぶ、地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する		
		各コマにおける授業予定	地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。地域福祉の新しい手について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	セーフティマネジメントの考え方を理解する。安全確保を組織で取り組む重要性、安全な暮らしの支援が利用者の尊厳に結びつくことの重要性を理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	リスクマネジメント、ルールや約束を守ることの重要性について理解する。福祉サービスに求められる安心や安全について理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	事故防止・予防のための対策を知る。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ		
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ、後期試験に向け、振り返りと対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 火2限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)第2版						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する			
		各コマに おける 授業予定	感染症対策、介護福祉職に必要な感染対策を正しく理解する。			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する			
		各コマに おける 授業予定	高齢者の特性を理解し、感染症対策について学ぶ、感染予防するための具体的な方法を理解する。			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働の必要性について学ぶ			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働の目的と効果について知る。			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	介護実践の場で多職種連携・協働が必要とされる意義について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	課題解決に対する多職種のかかわりには、多様な視点と受容が必要であることを理解し、多職種協働に求められるコミュニケーション能力について学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	介護福祉職と協働するさまざまな職種とその役割、機能を理解する		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	多職種連携・協働の実際について、事例を通して学ぶ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	健康管理の意義と目的、働く人の健康や生活を守る法制度、生じやすい健康問題を学ぶ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の健康管理について学ぶ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	こころの健康管理、ストレスとこころの健康との関係、こころの健康管理方法について学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	身体の健康管理、介護従事者の身体の健康障害の要因を知学び、身体の健康管理を理解する。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	労働環境の整備、労働条件の整備について学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	けがを防ぐための労働環境の整備について学ぶ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期まとめ		
		各コマにおける授業予定	後期のまとめ、後期試験に向け、振り返りと対策		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月3・4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の全体像を理解することができるようになる。			
		各コマにおける授業予定	介護過程の理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別ケアにおけるアセスメントの意義を理解する			
		各コマにおける授業予定	アセスメント			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。			
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案 留意点について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月3・4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しよう としているのか理解することができる。				
	各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しよう としているのか理解することができる。				
	各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しよう としているのか理解することができる。				
	各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	ケアプランを理解することができる。				
	各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	ケアプランと個別援助計画の関係性を理解することができるよう になる。				
	各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチにおける介護福祉士の役割を理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開についての理解の確認ができる。		
		各コマにおける授業予定	総括		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水2時限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて総合的に学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規)第2版・実習と記録(介護福祉士編)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成教育全体のなかで、「介護総合演習」がどのような位置づけになっているか理解する			
		各コマにおける授業予定	自身の目標設定、介護実習について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の意義と目的を理解する			
		各コマにおける授業予定	実習目標の大切さの理解、実習前、実習中、実習後という介護実習の主な流れと学習のポイントを知る。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の種類の確認と各実習における目的内容を理解する			
		各コマにおける授業予定	介護実習 I・II の目的、内容、実習先などを学習する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習前の学びと実習後の学びの活かし方について理解する。			
		各コマにおける授業予定	実習前及び実習中に学んだことをどのように活かしていくのかを学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。			
		各コマにおける授業予定	実習前、実習準備について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。		
		各コマにおける授業予定	実習中の学び、実習にのぞむ姿勢、実習日誌について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。		
		各コマにおける授業予定	実習後の学習の意義と目的を学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習個人票の作成、実習日誌の書き方を学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習個人票の作成、実習日誌の書き方を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習の目標の確認、実習に向け準備		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水2時限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて総合的に学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規)第2版・実習と記録(介護福祉士編)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会を通じて、実習で学びえたことを共有し、今後の学習に行かすことができる			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会の開催			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習Ⅱ-①に向け、実習日誌、個人票の作成		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習Ⅱ-①に向け、実習日誌、個人票の作成		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1年のまとめ		
		各コマにおける授業予定	1年間学んだことを振り返り、2年時の目標の設定を行う		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	業界特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水曜4限目	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・実習指導者・保育士			
《授業科目における学習内容》						
福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、求められる人材について理解を深める。また就職活動(小論文・履歴書の作成・面接練習等)につなげていく。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
就職活動において、福祉業界の情報や社会情勢など日頃から情報収集できるようにしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
学外活動や就職に関する活動もあるので、積極的に参加し理解を深めること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	業界特講の授業内容について理解できる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業の流れ) 就職活動にあたっての心得			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界へ見学に行くための準備ができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設や関連する施設、団体を調べる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界に行き、業界について理解することができる	事前学習で使用した資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設(特別養護老人ホーム)に見学実習に行く			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界に行き、業界について理解することができる	事前学習で使用した資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設(千種川リハビリテーションセンター)に見学実習に行く			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	見学実習を通しての学びをレポートにまとめることができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	レポート作成、発表をする			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	近隣の医療・福祉施設を知る	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	近隣の医療・福祉施設を見学し、介護福祉や医療について学ぶことができる(西播磨総合リハビリテーション)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	近隣の医療・福祉施設を知る	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	近隣の医療・福祉施設を見学し、介護福祉や医療について学ぶことができる(西播磨総合リハビリテーション)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種協働について学び、介護福祉職の役割を学ぶことができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	介護福祉職とその他関連職と連携することの大切さを学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて準備をすることができる	配布資料	興味がある施設や、関連する企業について調べる
		各コマにおける授業予定	就職活動の心得、進路希望調査、履歴書の書き方を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて準備をすることができる	配布資料	興味がある施設や、関連する企業について調べる
		各コマにおける授業予定	進路希望調査、履歴書に添削、面接練習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動について考える	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動や社会貢献活動の重要性を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の専門性をいかしたボランティアについて理解できる	配布資料	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	災害時に介護のボランティアが求められる理由について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の専門性をいかしたボランティアについて理解できる	配布資料 動画視聴	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	「災害」とは何か		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各県の介護福祉士会の組織による取り組みについて理解できる	配布資料 動画視聴	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉士会の取り組みを知り、ボランティア活動にいかせるようになる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期での学びの総復習ができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	これまでの活動や学びを通してどのような介護福祉士になりたいのか、ま目指すのかレポートでまとめることができる		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 水曜3限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士、社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、その他検定試験の合格を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験 過去問解説集、介護福祉士国家試験 模擬問題集、介護福祉士国家試験 受験ワークブック						
《授業外における学習方法》						
過去問題集や模擬問題集を活用し、問題に慣れる。試験の傾向を知り、対策をしていく。						
《履修に当たっての留意点》						
模試の結果(素点)が成績評価となります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験までのスケジュールや、内容等の説明			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験の傾向を知る、第34回の国家試験を解く			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	第34回の国家試験の答え合わせ、解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目ごとに対策ノートを作成する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳とコミュニケーション)の試験のポイントを整理する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳と自立)の試験のポイントを整理する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(社会の理解)の試験のポイントを整理する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(コミュニケーション技術)の試験のポイントを整理する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(生活支援技術)の試験のポイントを整理する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験の結果から、学習の習得度を分析する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	過去問題を解き対策をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火1限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
生活支援の基本的な考え方を学ぶ 住居環境の意義、家庭生活の理解から利用者の環境を整備する視点、留意点の援助を習得していく						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% レポート20% 態度・発表10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 生活支援技術 I (中央法規出版) 第2版						
《授業外における学習方法》						
居住環境の整備を実習時に施設で確認する。住まいの多様性について学ぶ						
《履修に当たっての留意点》						
生活支援技術Ⅱの被服、調理、技術演習の科目と連動していることを講義していく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	生活支援の理解 生活支援とは何か?			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICFの視点を生活支援に活かし、生活支援におけるチームアプローチの必要性について学び理解できるようになる			
		各コマにおける授業予定	生活支援と介護過程 生活支援とアプローチ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいの役割と生活空間を整備する際の留意点を理解することができる			
		各コマにおける授業予定	居住環境の整備 1. 住まいの役割と機能 2. 生活空間			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	快適な室内環境を整備するための基本的事項を学び、加齢変化に伴う注意点、日常安全と緊急事態に対応を理解できるようになる			
		各コマにおける授業予定	快適な室内環境 安全に暮らすための生活環境			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいをめぐる現状、それに関わる職種と役割について理解することができる			
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者の住まい 居住環境の整備における多職種との連携			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動の一連の流れ、基本的な視点から安全、安楽に介助できるようにする		
		各コマにおける授業予定	自立に向けた移動の介護 自立した移動・移乗の介護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	安楽な姿勢・体位を保持道具、用具について学ぶことができる		
		各コマにおける授業予定	安楽な姿勢・体位を保持する介助		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境と整備、福祉用具について学べるようになる		
		各コマにおける授業予定	移動・移乗のための道具・用具		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の支援に向けて介護福祉職と連携する意味を理解することができる		
		各コマにおける授業予定	歩行介助について 歩行のポイント 道具、用具 多職種との連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉用具の定義、意義、介護保険、障害者総合支援法における福祉用具のサービスを理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	福祉用具の意義 公的制度における福祉用具サービス		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度のなかでできる家事の範囲を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	自立生活を支える家事 自立に向けた家事介護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職との連携のあり方を理解ができるようになる		
		各コマにおける授業予定	家事の介護における多職種との連携		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい事故、緊急時の連携のあり方を学ぶことができる		
		各コマにおける授業予定	応急手当について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援者の姿の理解、多職種協働の必要性について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	災害時における生活支援 1.被災地で活動する際の心構え2.災害時		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践を行うための知識を確認することができる		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規						
《授業外における学習方法》						
介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活支援技術の授業内容が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業概要、実習室使用方法、身だしなみ等)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	骨格や筋肉などの相互関係で起こる身体の動きのメカニズムについて学習し、利用者・介助者双方の負担を少なくする体の使い方を理解する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠環境を整える方法(ベッドメイキング等)を理解し、根拠を説明できる力を身に付ける	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング/主な姿勢について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを応用した、利用者と介助者の身体的負担が少ない介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起居動作(寝返り、起き上がり、立ち上がり)の介助/体位変換の介助			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上方移動・下方移動・水平移動・スライディングシート(ボード)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	仰臥位から側臥位(対面法・背面法)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起き上がりから端座位への介助		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	端座位から立位への介助/安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 側臥位における安楽な体位を保持する介助 半座位(ファーラー位)における安楽な体位を保持する介助		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	歩行の介助を行うにあたってのポイントが理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	3動作歩行・2動作歩行		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障がい者擬似体験をすることで高齢者・障がい者の身体的・精神的負担を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・障がい者擬似体験をする		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	車いす介助の方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	校外にて車椅子の操作をする		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドから車いすへの移乗の介助/車いすかたベッドへの移乗の介助		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	移乗全般にわたり介助が必要な利用者の介助		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	福祉用具を活用した移乗(スライディングボード・シート・移動用リフト)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	洗顔、整髪、ひげの手入れ、爪の手入れ、耳の清潔		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規						
《授業外における学習方法》						
介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	口腔ケア/衣服の着脱			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	介助を必要とする利用者の心身の状態・状況に応じた適切な介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	食卓で行う食事の介助/ベッド上で行う食事の介助			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	個浴/特殊浴槽(機械浴)			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	リフト浴/シャワー浴			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	全身清拭/部分清拭/陰部洗浄			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭・陰部洗浄		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄の介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	尿器、差し込み便器での排泄介助		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッド上でのおむつ交換、自己導尿、座薬挿入		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	最終段階の介護技術について学ぶ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年 木曜1限	教室名	401教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」/最新 介護福祉士養成講座Ⅱ7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>各領域で学んだ知識と関連付けられるようにする。専門的な用語も出てくるので調べておく必要がある。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>専門分野「介護」の領域となる「生活支援技術」である。他科目との関連性も踏まえ学習していく。生活支援技術(技術)との関連性も重要となるので、根拠をしっかりと押さえておく必要がある。授業の事前事後の学習が重要である。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	授業概要について理解することができる 生活とは何か、生活支援とは何かについて理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	生活支援について				
第2回	授業を通じての到達目標	自立支援について理解できる。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護 自立した移動のあり方について理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	介護の原則「安全・安楽、自立支援、個人の尊厳」に則り、利用者が安心して活動・運動するための技術の根拠が理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護:移動の基本的理解				
第4回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。利用者の生活習慣を知り、状態を観察して、利用者に適した介護技術の展開ができる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護				
第5回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	洗顔の介助/整髪の介助/髭の手入れ/爪の手入れ/耳の清潔の介助				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	化粧/口腔ケア/身じたくの介護における多職種との連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した食事のあり方について理解する。自立に向けた食事の介護をするために介護福祉士がすべきことを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護/誤嚥の予防のための支援/多職種との連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔の目的は何か、清潔の保持が生活にどのような影響と意義を持つのかを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した入浴・清潔保持とは		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持を安全・安楽に行い、尊厳を守り、自立支援を可能にするために欠かせないアセスメントの力をつける	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/入浴における多職種連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した排泄について理解する。利用者に合った排泄の介護ができるよう、利用者を観察する視点について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した排泄とは		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする利用者の心身の状況・状態に応じた適切な排泄方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	排泄方法の選択 トイレ/ポータブルトイレ/尿器・便器での排泄/おむつでの排泄や導尿の検討		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとって休息・睡眠がどのような意味をもつか理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠とは		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のとらえ方を学び、人生の最終段階の介護の考え方と介護福祉職の役割について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階の意義と介護の役割		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階におけるアセスメントの視点が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階におけるケアがめざすもの		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容が理解できているか確認できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	前期授業のまとめをする		